

1. 家庭系燃えるごみの減量について、その具体策と減量強化月間の制定を求める

ごみの排出量を削減する必要性について、広報かいせいや、町民集会などで周知を図った結果、ほとんどの町民が理解していることと思います。その理解をさらに深め、実際の行動に反映して頂くことにより、ごみの排出量を大きく削減することができると思います。

家庭系の燃えるごみの内、40%相当の量が生ごみであり、生ごみの60%が水分である、と言う事は、すでに衆知の事でしょう。

従って、ごみの排出量を削減するためには、家庭から排出される生ごみの水分を取り除くことが最も効果的である、と言う事ができます。

また、生ごみの自家処理に最適なキエーロについて2年間で普及したのは、わずか7台のみであった。

これらの事から、以下の点に対し、行政の取り組み方針をお聞きする。

- ① 生ごみの水切りバケツを、全戸に配布・支給することについて
- ② キエーロの普及促進策について
- ③ 生ごみ減量強化月間を制定することについて
- ④ 他、家庭系燃えるごみの減量対策等について